

## ◎記載事項等のチェック

以下のチェックシートを活用していただき、提出書類・記載事項等に不備のないよう、作成してください。

提出書	チェック欄	
	計画書	報告書
事業者ごとに1部作成されているか。		
日付が記載されているか		
住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)が記載されているか		
氏名又は名称(法人は、法人の名称及び代表者の氏名を記名押印又は署名)が記載されているか * 代表者以外の氏名の場合、委任状の添付等により明確に権限が委任されていることが示されているか		
押印(法人の場合は必ず代表者印)されているか(電子申請の場合は不要)		
提出する項目(計画書、報告書、内訳書)が選択されているか		
計画期間や報告年度が記載されているか * セルのプルダウンメニューから選択		
提出する内訳書の種別(基準年度、目標年度、報告年度)が選択されているか * 計画書提出には基準年度及び目標年度内訳書、報告書提出には報告年度内訳書を作成、添付		
連絡先が記載されているか		

計画書 / 報告書	チェック欄	
	計画書	報告書
事業者ごとに1部作成されているか。		
* 計画書・報告書は事業「者」で1部、内訳書は事業「所」ごとに作成し、内訳書別紙にとりまとめ		
新規・変更の別が選択されているか		
住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)が記載されているか		
氏名又は名称(法人は、法人の名称及び代表者の氏名を記名押印又は署名)が記載されているか * 代表者以外の氏名の場合、委任状の添付等により明確に権限が委任されていることが示されているか		
事業者の主たる業種が記載されているか		
該当する事業者要件が選択されているか * 特定事業者以外の自主参加事業者の場合は空欄		
計画期間が記載されているか * 年度単位3年間		
基本方針(地球温暖化防止に貢献する基本的考え方)が記載されているか		
推進体制(取組の推進責任者及び担当者並びに点検体制)が記載されているか * 環境マネジメントシステムを構築している場合は、当該欄に記載		
年度ごとの具体的な取組及び措置が記載されているか		
温室効果ガスの排出量等が記載されているか		
基準年度は計画期間の前年度となっているか		
基準年度排出量は内訳書に記載された事業所ごとの基準年度排出量の合計と一致しているか(内訳書別紙の数値と一致しているか)		
基準年度排出量は当初の計画書で計画した数値と一致しているか		
目標年度は計画期間の最終年度となっているか		
目標年度排出量は内訳書に記載された事業所ごとの目標年度排出量の合計と一致しているか(内訳書別紙の数値と一致しているか)		
目標年度排出量は当初の計画書で計画した数値と一致しているか		

増減率(計画)は、(目標年度排出量－基準年度排出量)÷基準年度排出量×100の数値となっているか(また、その数値が負の値となる場合「－」(マイナス記号)が記載されているか)		
報告年度に間違いはないか		
報告年度排出量は内訳書に記載された事業所ごとの報告年度排出量の合計と一致しているか(内訳書別紙の数値と一致しているか)		
増減率(実績)は、(報告年度排出量－基準年度排出量)÷基準年度排出量×100の数値となっているか(また、その数値が負の値となる場合「－」(マイナス記号)が記載されているか)		
目標設定の考え方が記載されているか		
実績に対する自己評価が記載されているか		
原単位当たりの温室効果ガス排出量等が記載されているか(任意で記載可)		
用途区分(〇〇工場、事業所など)が記載されているか		
原単位の指標欄に、分子の「二酸化炭素換算」の下に分母となる指標(生産数量、延べ床面積、走行距離など)が記載されているか		
原単位の指標を用いて計算された原単位排出量が記載されているか(基準年度、目標年度)		
基準年度及び目標年度原単位排出量は当初の計画書で計画した数値と一致しているか		
原単位の指標を用いて計算された原単位排出量が記載されているか(報告年度)		
原単位の単位が記載されているか(t-CO2/億円、t-CO2/千㎡、t-CO2/kmなど)		
増減率(計画)は、(目標年度原単位排出量－基準年度原単位排出量)÷基準年度原単位排出量×100の数値となっているか(また、その数値が負の値となる場合「－」(マイナス記号)が記載されているか)		
増減率(実績)は、(報告年度原単位排出量－基準年度原単位排出量)÷基準年度原単位排出量×100の数値となっているか(また、その数値が負の値となる場合「－」(マイナス記号)が記載されているか)		
表記されている原単位排出量を計算したものと増減率が合致しているか(適宜、増減率と合致するよう小数点以下の桁数表記を変更) ※エクセルの自動計算により計算結果と表記が異なるため 例)基準年度 5.3t-CO2/㎡ 目標年度 4.8t-CO2/㎡ 増減率 -10.0% (4.8-5.3)÷5.3×100= -9.4%(増減率-10.0%と合致しない) →基準年度 5.333t-CO2/㎡ 目標年度 4.8t-CO2/㎡ 増減率 -10.0% (4.8-5.333)÷5.333×100= -10.0%(増減率-10.0%と合致)		
原単位の指標及び計画数値設定の考え方が記載されているか		
実績に対する自己評価が記載されているか		
その他の地球温暖化対策(森林の保全及び整備、府内産の木材の利用、自然エネルギーを利用した電力又は熱の供給、グリーン電力の購入、家庭における温室効果ガス排出量の削減効果分の購入)を実施している場合、取組量等が記載されているか。 ※府ホームページ参照 <a href="http://www.pref.kyoto.jp/tikyu/1176084636109.html">http://www.pref.kyoto.jp/tikyu/1176084636109.html</a>		
地球温暖化対策に資する社会貢献活動(業務における温室効果ガス削減の取組以外に、地域社会での地域住民等への啓発など環境貢献活動の実施や環境活動を行うNPO法人等への活動支援等地球温暖化に資する社会貢献活動の内容、又は計画等)が記載されているか *可能な限り積極的に記載		
特記事項(平成2年度を基準とした排出量の対比や省エネ製品開発など他社の温室効果ガス排出削減への貢献、グリーン調達を採用、特定フロンなどの条例指定外の温室効果ガスの削減、排出量が大幅増の場合その理由等)が記載されているか *可能な限り積極的に記載、特に排出量が大幅増の場合はその理由を具体的に記載		

内訳書別紙	チェック欄	
	計画書	報告書
基準年度、目標年度、又は、報告年度ごとに内訳書別紙が作成されているか * 計画書提出時は、基準年度の内訳書別紙と目標年度の内訳書別紙双方が必要 * 報告書提出時は、報告年度の内訳書別紙が必要		
事業者名が記載されているか		
提出書類の区分で「事業者排出量削減計画書」「事業者排出量削減報告書」のいずれかが選択されているか		
提出書類の区分、記載年度及び記載年度の区分の間に齟齬はないか * 計画書 基準年度(実績): 計画期間の前年度 目標年度(計画): 計画期間の最終年度 * 報告書 報告年度(実績): 計画期間のうち今回報告対象となる年度		
内訳書に基づき、事業所等の名称が記載されているか		
事業所ごとの内訳書に基づき、各区分(A事業所等排出区分、B輸送車両排出区分、Cその他排出区分)の原油換算量、二酸化炭素換算量が記載されているか		

内訳書	チェック欄	
	計画書	報告書
事業所ごとに必要な内訳書が作成されているか * 計画書提出時は、基準年度の内訳書と目標年度の内訳書双方が事業所ごとに必要 * 報告書提出時は、報告年度の内訳書が事業所ごとに必要		
事業者名が記載されているか		
事業所等の名称が記載されているか		
事業所等の主たる用途が選択されているか		
提出書類の区分で「事業者排出量削減計画書」「事業者排出量削減報告書」のいずれかが選択されているか		
提出書類の区分、記載年度及び記載年度の区分の間に齟齬はないか * 計画書 基準年度(実績): 計画期間の前年度 目標年度(計画): 計画期間の最終年度 * 報告書 報告年度(実績): 計画期間のうち今回報告対象となる年度		
事業者の要件にかかわらず、温室効果ガスを排出している排出区分には、排出量を記入しているか * A 事業者等排出区分 京都府内事業所等の事業活動のためのエネルギーの使用に伴い発生する温室効果ガス * B 輸送車両排出区分 自動車運送事業者は使用の本拠の位置を京都府内とする車両の排出する温室効果ガス、鉄道事業者は保有する貨物車両又は旅客車両の排出する温室効果ガス * C その他排出区分 上記以外の京都府内における事業所等の事業活動に伴い発生する温室効果ガス		
使用エネルギーの単位(トン、千立方メートルなど)に記載漏れはないか		
原油換算数量、二酸化炭素換算数量の計算漏れはないか * 基本は、実数値を入力すれば自動計算 * LPG、LNGなど、一部のエネルギーは自動計算しないため、該当する単位、係数で手動計算		